

# 第6学年社会科学学習指導案

日時 平成18年9月6日(水)  
児童 男14名 女15名 計29名  
指導者 関戸 文則

## 1, 単元名 武士の世の中をさぐる - 幕府の政治と人々の成長 -

### 2, 単元について

#### (1) 教材について

本単元「幕府の政治と人々の成長」では、江戸幕府が政治を行った時代のうち、幕府の始まり、大名行列、鎖国の三つを取り上げ具体的に調べることで、身分制度が確立し武士による政治が安定したことと、農業技術の進歩及び歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について調べる事を通して、庶民が力をつけ、町人文化が栄え、新しい学問がおこったことをわかるようにすることをねらいとしている。

江戸時代は徳川家康が江戸に幕府を開いてからのおよそ三百年間である。長期間、日本を治めることができた背後には、幕府の体制が大きく関係している。中でも参勤交代や鎖国政策の果たす役割は大きい。参勤交代は大名の力を弱めるのに大きな役割を果たしていた。その際、大名配置を意図的に行うことで、江戸から遠い大名に大きな負担を負わせ、勢力を弱めていた。また、鎖国政策によって外国からの思想、文化を排除し、幕府の思想を広げることで、幕府の力は全国の隅々まで広がりその力を確かにしていったのである。

平安末期から、日本は戦乱が絶えず、庶民は常に不安定な生活を強いられてきた。江戸幕府の政治により、三百年もの長い間平和な社会が続いたというのは、庶民にとっても力をつけていく絶好の機会であった。

本単元では、支配者だけでなく、町民や農民であった人々にもスポットがあてられている。農業技術の進歩及び歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学といった江戸の文化を調べる活動を通し、社会が安定するにつれて町人の文化が栄えたことや新しい学問が起こったことを、人物の動きと関連させながら理解することができる単元である。また、鎖国という状況において生まれた町人の文化や新しい学問が、その後の新しい時代や他の国々に与えた影響についても考えることができる単元となっている。

#### (2) 児童について

歴史学習に興味を持ち、調べたことを新聞などにまとめる活動でも意欲的に取り組んでいる。家庭学習で様々なエピソードを調べてきたり、歴史関連の書物を読んできたりする児童も多い。鎌倉幕府や室町幕府、織田信長や豊臣秀吉の政治を学習し、民衆を支配下におくために取った政策のねらいや結果などについて、しっかりとらえることができている。農民の暮らしが厳しかったことも理解しており、歴史の華やかな場面だけでなく、陰の部分もとらえている。ただし、調べた内容を積極的に発表したり、他の時代と比較・関連づけするなど総合的な感覚をもったりしている児童は少ない。また、教科書や資料集以外から、もっと深く調べようとする姿勢が少ない児童も見られる。

本単元の学習を通し、自分の意見をしっかり持たせながら、興味・関心を高め、調べる力、考える力、まとめて発表する力を高めていきたい。

#### (3) 指導にあたって

指導の際には、児童が調べたことを裏付ける資料をできる限り準備して、児童の理解や考えを深める支援を行っていきたい。単なる「人物名」、「年号」、「歴史的事実」の暗記や知識量を増やすのではなく、人物の考えや願い、生き方などに触れさせながら指導を進めていきたい。

まず、江戸時代の大名配置の図から、親藩、譜代、外様大名の配置には、あるねらいがあることに気づかせたい。外様大名を江戸から遠く配置することで、江戸を守るというねらいや、参勤交代により外様大名により多くの費用を出させ、勢力を弱めるねらいがあったことに気づかせたい。また、江戸時代の村や町の資料から、幕府の身分制度を隅々まで浸透させ、武士の力をより強固にしようというねらいがあったことにも気づかせたい。さらに、長崎の出島や朝鮮通信使などの資料から、鎖国をする目的や影響にも考えさせたい。

江戸時代の文化などの学習にあたっては、これまでの文化と視覚的に比較できるような資料を準備し、子どもたちの活動の支援となるようにしていきたい。また、幕府の徹底した政策や農業技術の進歩などが町人文化の発展につながっていることを理解できるよう、既習の学習内容をタイミングよく提示し、理解の手助

けとしていきたい。

### 3, 単元の目標と評価規準

#### (1) 目標

##### 【社会的事象への関心・意欲・態度】

武士の支配を目指した江戸幕府の政策や、浮世絵・歌舞伎などの文化、国学・蘭学などの新しい学問に関心を持ち、意欲的に調べて発表しようとする。

##### 【社会的思考・判断】

江戸幕府の政策により、武士の政治が安定していったことや、新しい文化や学問が生まれてきた経緯を、資料や以前の時代との比較をもとに考えることができる。

##### 【観察・資料活用の技能・表現】

江戸幕府の大名支配政策や鎖国政策、身分制度の政策の様子や目的を資料から読み取ることができる。町人が作った江戸時代の文化と学問の特色を、資料から読みとり、ノートなどにまとめることができる。

##### 【社会的な事象についての知識・理解】

封建的な支配体制を確立させ、武士の政治を安定させるために幕府がとった政策や、百姓や町人など、庶民が力をつけていった時代背景がわかる。

歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学など、町人の文化が栄えたことや新しい学問が起こったこと、それらが後世や海外に影響を与えたことがわかる。

#### (2) 評価規準

##### 【社会的事象への関心・意欲・態度】

- 江戸幕府の政治や社会の様子、江戸時代の文化に関心を持ち、学習問題を意欲的に追求しようとしている。

##### 【社会的思考・判断】

- 江戸幕府が支配体制を強めていったことを、大名統制や身分制度の確立、鎖国から考えている。

##### 【観察・資料活用の技能・表現】

- 大名統制や身分制度の確立・文化などを、各種資料を適切に活用し、目的に応じて調べている。

##### 【社会的な事象についての知識・理解】

- 江戸時代に身分制度が確立し、江戸幕府による政治体制が安定したことを理解している。
- 社会が安定するにつれて、歌舞伎や浮世絵などの町人の文化が栄えたことや、国学や蘭学などの新しい学問がおこったことを理解している。

### 4, 単元の指導と評価計画 (8時間)

時数	学習内容	指導目標	評価規準	歴史的事象・資料・人物
1	金沢藩の大名行列をさぐる	大名行列の想像図から、江戸時代の政治のしくみや社会の様子について、学習問題を設定できるようにする。	武士と農民の関係や暮らしについて、疑問点や調べたいことを発表し合い、政治のしくみや社会の様子について、学習問題を設定することができる。(関心・意欲・態度)	大名行列想像図 江戸までの距離 旅籠写真
1	家光、大名たちに命じる	徳川家光の時代に完成した、江戸幕府による大名支配のしくみを理解できるようにする。	大名の配置や武家諸法度、参勤交代の制度を調べ、江戸幕府による大名支配の工夫やしくみについて考えることができる。 (思考・判断)	大名配置図 領地の割合グラフ 武家諸法度 ・徳川家光
1	鎖国への道	鎖国政策に到る経過を調べ、その影響や、鎖国下での近隣地域との交流、交易について理解できるようにする。	江戸初期の外国との交流やキリスト教の影響について調べ、鎖国の理由やその影響についてまとめることができる。(技能・表現)	アジアとの貿易資料 鎖国下の交流地図 年表・鎖国・出島
1	江戸時代の道を調べよう	産業の発展に伴って急速に発達した流通網から、各地の暮らしや生産力が向上したことを理解できるようにする。	江戸時代の流通網について調べ、産業の発展により、人、物、情報などが全国規模で流通した様子についてまとめることができる。 (技能・表現)	街道・海路図 飛脚、渡し、関所、船、旅の様子 の絵図 「天下の台所」 「将軍のおひざもと」
1	身分ごとに異なる暮らし	幕府が農民や町人をいかに支配したのか、また、身分制度の下、人々がどんな暮らしをしていたのか理解できるようにする。	慶安のお触書や町人の暮らしの絵図から、生活の様子を予想して調べ、江戸時代の身分制度について理解することができる。	おふれ書き 人口の割合 暮らしの絵図

			(知識・理解)	
1	にぎわう都市、花開く文化(本時)	江戸や大阪など、大都市の繁栄の様子と文化の隆盛を通して、町人が力をつけ、産業や文化を発展させてきたことを理解できるようにする。	江戸や大阪などの都市の様子や、浮世絵や歌舞伎などの文化の具体像から、民衆の生活について予想して調べ、民衆の力が高まったことを理解することができる。(知識・理解)	蔵屋敷、呉服屋の絵図 歌舞伎、浮世絵、 人形しばい、水墨画 ・近松門左衛門 ・歌川広重
1	力をつける農民	農村での生産力の増大と人々の団結の高まりを通して、その暮らしの変化や生活防衛の動きが起こってきたことを理解できるようにする。	江戸時代、農業の生産力が大きく発展したことに気づき、それにともなって農民の暮らしや、幕府との関係がどう変化していったのかを調べ、まとめることができる。 (知識・理解)	農作業、旅の様子 の絵図 田畑の面積、一揆のグラフ、 連判状 ・大塩平八郎
1	玄白、「解体新書」を出版する	新しい学問を求める人々の取り組みや、新しい学問が世の中に与えた影響を理解できるようにする。	「解体新書」作成の過程などを調べて人々の苦勞を知り、この時代の新しい学問とその広がりについて考えることができる。 (思考・判断)	人体図 解剖の絵図 伊能忠敬の地図 ・杉田玄白・解体新書 ・伊能忠敬・高野長英 ・本居宣長・寺子屋

## 5, 本時の指導

### (1) 指導目標

浮世絵や歌舞伎などの文化の様子を調べることを通して、町人による文化が隆盛したことを理解できるようにする。

### (2) 評価規準・支援

評価規準	具体の評価規準	
	十分満足できる(A)	概ね満足できる(B)
【知識・理解】 江戸や大阪などの都市の様子や、浮世絵や歌舞伎などの文化の具体像から、民衆の生活について予想して調べ、民衆の力が高まったことを理解することができる。	歌舞伎や浮世絵が町人に親しまれたことと町人が力をつけてきたことについて、社会の安定を関連させてまとめている。	歌舞伎や浮世絵が町人に親しまれたことと、町人が力をつけてきたことについてまとめている。

<b>努力を要すると判断される児童への支援</b> ・江戸や大阪の絵図から、商業の発達や、様々な身分の人々が歌舞伎や浮世絵を楽しんでいた様子に注目させる。 ・水墨画と浮世絵の違いについて、具体的な観点を与えて考えさせる。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### (3) 展開

段階	学習内容と予想される活動・反応	教師の働きかけ・支援	資料
つかむ	1、浮世絵と水墨画を比べ、感想を持つ。それぞれの背景を考える。 ・イメージ、作成方法、色づかい、値段、数、支持層など 2、学習問題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">江戸時代の文化について調べよう。</div>	・水墨画の特徴を振り返らせ、浮世絵と違いを考えさせる。 ・水墨画は、限られた身分の人にしか鑑賞されなかったことを確認する。	・水墨画 ・浮世絵(風景画)
追	3、資料をもとに、江戸時代の代表的な文化について調べる。 1 どんな文化が 2 どんな人たちの間で	・調べる観点を明確にし、調べ活動の見通しを持たせる。 ・1を決めたら、2, 3, 4と進むようにさせる。	・江戸時代の文化資料

<p>究</p> <p>す</p> <p>る</p>	<p>3 代表的な人物や作品は</p> <p>4 その文化が起こった理由は</p> <p>歌舞伎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も演じられている。多くの人が演劇を楽しむようになってきた。</li> </ul> <p>浮世絵</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷技術の発達により、大量生産できた。値段も安かったため、多くの人々が楽しめた。</li> <li>・歌舞伎が流行したことで、役者のプロマイドとして売られるようになった。</li> <li>・旅行が盛んになり、絵葉書のような役割を果たした。</li> </ul> <p>浮世草子、俳句、読本等</p> <p>4 , なぜ浮世絵や歌舞伎などが楽しめるようになったのか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浮世絵や歌舞伎などが中心となると思われるが、その他についても積極的に調べてよいことを伝える。</li> <li>・武士ではない身分の人でも、男性だけでなく女性も芝居を楽しんでいることに気づかせる。</li> <li>・浮世絵が流行した理由を、楽しむ側と作る側、両方の立場から考えさせる。</li> <li>・以前は、芝居を見たり絵を買ったりといった余裕は無かったことに気づかせる。</li> <li>・水墨画は数が少なく高価。浮世絵は大量生産が可能で安価なので、町人も入手しやすかったことに気づかせる。</li> <li>・浮世絵や歌舞伎など、この時代の文化は、武士から庶民まで、男女の関係もなく幅広く支持されたことに気づかせる。</li> <li>・平和な世の中になり、庶民も娯楽を楽しむ余裕（時間・経済）が出てきたことを押さえる。</li> <li>・どの文化も、楽しんだ人々や受け入れられた理由が共通していることを押さえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌舞伎の絵図</li> <li>・人物カード（近松門左衛門）</li> <li>・浮世絵（東海道五十三次）</li> <li>・人物カード（歌川広重）</li> <li>・浮世絵（役者絵）</li> </ul>
<p>ま</p> <p>と</p> <p>め</p> <p>る</p>	<p>5 , このような文化が盛んになった理由を考え、ノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活が安定し、町人が娯楽を楽しむ余裕が出てくるなど、町人が力をつけてきた。</li> <li>・政治が安定し、平和な世の中になって身分に関係なく、みんなが楽しめるものが求められるようになった。</li> </ul> <p>6 , 学習の振り返り</p> <p>7 , 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和な世の中になったということや、経済的理由を押さえるとともに、これまでの時代と比較させ、この時代の文化の特色をはっきりさせたい。</li> <li>・今日の学習で分かったこと、驚いたこと、なるほどと思った友達の考えなどを振り返らせる。</li> <li>・次時の学習内容を知らせ、学習意欲の継続を図る。</li> </ul>	